

日蝕貧乏メキシコツアーレポート、ラパス編

出雲 晶子

●重たいツアー

アトム／近畿日本ツーリスト（以下近ツリ）のメキシコBツアーは本当のサバイバルツアーでありました。1週間で成田ーロス空港ーサンタモニカーメキシコシティーラパスーロス空港ーサンディエゴー成田という移動が強引である上に、200名という大人数ツアーであったため、あちこちで無理が出ておりました

その200人が全員望遠鏡セット持参であるため、1人あたりの荷物は平均30kg強。ボーリングの玉10個分でもう10cmも持ちあがらんスーツケースばかり。

異常に重くなったチャーター便ボーイング727がよっこらしよとラパスの石がゴロゴロしてる空港に着陸したときは、本当にほっといたしました。

●ラパスのホテルらしきもの

メキシコBは出発3週間に、2年も前から予約していたラパスのホテルが、どこかの別のツアーに金を積まれてキャンセルとなりました。メキシコとはそんな所。

あわてて近ツリは宿を2箇所さがしましたが、1つは宿でなく「修道院」で、そのためわれわれは「修道院」の屋根で観測することになりました。

何しろ修道院なので、クーラーはないし、一部のベッドは近所の病院から借りてきたつきそい用簡易ベッド、すなわちハンモックでありました。しかしラパスのもう1つのホテル？”モーラ”では2人部屋に5～6名つめこんでおり、一部どころか「半分以上」がハンモックであったので、修道院はまだマシだったと言えます。

お客さんは直前キャンセル事件を知らないで、「なぜ最初の話と全然観測地がちがうのか！皆同じ条件で観測できない（場所に不公平が出た）のか！」と、たまっていた怒りが爆発したかっこうで、大騒ぎとなりました。

なんたって、いい観測地（修道院屋上）に入れる人をクジで決めようとしていたのですから、．．．大きい荷物を持ってやってきた人たちはなんとしても修道院屋上の席を勝ち取ろうと、半分ケンカになりそうな勢いの方もおりました。結局よく調べたら全員修道院屋上で観測できることがわかったので、めでたしめでたしでした。

観測場所は修道院屋根が最も条件がよいので、われわれを初めとする多くの”モーラ”宿泊メンバーはモーラを逃げだし、宿無しとなりながら、修道院にやってきました。（日蝕貧乏組は、お友達のスカイウォッチャーさんの部屋に強引に7名も上がり込んで

ねこけていたので、他の人より楽でした)

もちろん修道院であるのでクーラーなんぞありません。ここ1ヶ月雨が降っていない快晴の続くラパスは、灼熱地獄となりましたが、アトムさんたちの手配で氷入り飲み水とマルガリータが飲み放題だったので、かなり助かりました。

●サバイバル皆既日蝕

日蝕は皆既の前後それぞれ1h40m続きます。多くの人が前日の夜から徹夜でセッティングし、そのまま観測に突入、炎天下47度Cに上がった気温の中、望遠鏡につきっきりの皆様、...と機材。

双眼鏡はちょっと置いておくと火傷するくらいの高温に。高級カメラ類もアルミ箔をかぶせてあるのに、高温のため、続々ご臨終してゆき、部分食終了までには皆様それぞれ3台くらい持ってきたカメラのうち半分くらいが使えなくなっておりました。

それにしても、いままで日本で発売された全カメラの機種が一同に会したのではないかと、というくらい色々なカメラがありました。1人5つもってきた方もいるくらいで。

日蝕貧乏の皆様はそれぞれ2~3台のカメラと望遠レンズで観測されておりましたが、私だけは皆既食以外は撮らないという横着コース。部分食の間は暇でしたので、修道院(何度書いても信じられん場所)屋上と1F間を水をもって往復していました。

今回の皆既は異常だったそうです。暗くなりません。1等星が見える程度でなんとなく白い空。そして300ミリでもはみ出すほどに広がったコロナ流線。この世のものとは思えない物を見た気がしました。

感動の皆既が終了すると、暑さで逃亡する人多数、...、その中最後まで観測された方からは、熱射病などで多数の死人が、...

観測終了の瞬間から、「命の次に大切な機材」が「命の次に大切なフィルム」に変わり、皆さんそれぞれ、自分のフィルムを大事そうにかかえ、よろよろと部屋に帰っていったのです。(われわれの場合、部屋がないので廊下に帰った)

スカイウィッチャー室をはじめ各部屋ほとんど病室になり、たまたま元気の私と怪物染川氏は、死人の看病と、死人の機材運搬に追われていたラパスの1日でした。

死人が多数寝ている中、まだ機材も片づいていない夕方5時に、「空港に出発します!」の無情の声があり、なんとか死人たちをたたき起こし、ラパスのめったにボーイング727なんかおらない、小さな空港へと向かったのであります。

翌日、サンディエゴのホテルで「ハワイ、曇る!」の報あり。ハワイ組とメキシコ組は2年前から、お互い気にしあっていたのですが今年にはいってダブルブッキングや

キャンセルのあいつぐ上に料金が高いメキシコ組に対し、豪華ホテル、美しい観測地の割に安価なハワイと、明暗が分かれてきただけに、反応が人間的でありました。

昨日の高温のため、皆理性が欠如し、鬼のよーなことを言っておりましたが、もちろん本心じゃありません。．．だから．．．（怒らないでね．．^^;）

気温はデジタル温度計2台で測定しましたが、これは正確にいう気温ではなく、「修道院屋上の温度」であります。

温度計を気象観測のためにもっていった1人の方は、50度までしか測れないのでこわれるとこまるのでひっこめてしまわれました。私知ってるのは47度まで、それ以上は上がったかもしれませんが聞いていません。．．．コンクリートですからなあ、床、あはは。

ラパスのガイドをみると「高級ホテルが多い」とあったのですが、．．．、いったい高級ホテルはどここのツアーがせしめたのでありましょう？

（ニフティーサーブの日食会議室から、出雲さんの発言を編集部でまとめさせて頂きました）

何しろカモなもんですから

A社のBコースは当初から13万円の値上げ。いくらメキシコとはいえ、200名の団体で1人46万は暴利という意見もあります。だってヨーロッパ一周できちゃう金額ですもの。

私たちは、このように、いいカモさんなのですよ。それでも日蝕見たいから、カモと知りつつ、たかーいツアーにのってしまうのですね。

たしかに普通のツアーより条件が厳しく、手配がたいへんだったと思いますがそれにしても、．．．、高い。